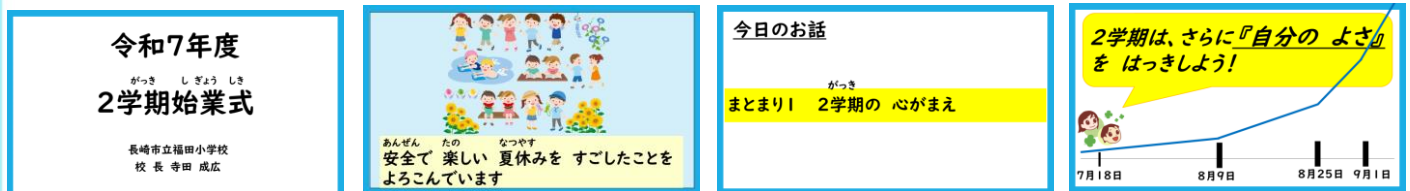


残暑お見舞い申し上げます

9月1日の2学期始業から一週間がたちました。残暑が厳しく、今日の午前中は湿度も高かったため熱中症指数が37まで上がっていました。朝晩は真夏ほどの気温ではありませんが、まだまだ熱中症は要警戒です。

さて、このような気候の中での子どもたちの様子ですが、長い夏休み明けではあるものの、全体的にスムーズに2学期の学校生活に入っています。先生方には、「1学期の成長をあらためて確認し、2学期末の目指す姿を子どもたちと共有しましょう。」と伝えましたが、子どもたちの姿からよりよい自分になるうとする意識を感じます。2学期の成長がとても楽しみです。

1日の始業式の講話でも、このような話をしました。以下がその際に使ったスライドです。



自分の良さを発揮するために心掛けてほしいこととして、「出る杭は打たれる」ということわざを使って話を進めました。

こんな ことわざを して いますか?

で くい う
出る杭は 打たれる

杭とは・・・ 地面を かためる ために うつ とでも だいじな ぶひん

ご存じのとおり、杭は、建築において基礎となる地面を安定させるために欠かせない部材です。そのために高さを揃えないと意味をなさないので叩かれる、そこから転じて、「他人より出っ張る（目立つ）と攻撃（中傷）されて辛い目にあうぞ。」という戒めを伝え、日本人の同調性の高さを保つ役割を果たしてきたことわざです。

で くい う
出る杭は 打たれる

人の くらしに あてはめると
よい力や 考えを 出して 目立つと、 つらい目に あう。

こんなときは ないですか?

自分のよさは はっきり 言えない!

自分の よい力や 考えを、 えんりよせず どしどし 出そう!

で くい う
出る杭に なれ

自分のために、 なかまのために。

で くい う
出る杭を 『認める』 なかまとも なるう

1学期に つづいて、2学期での みなさんの 成長を、 校長先生も ほかの 先生方も、 とても 期待しています。

いでしょうか。

子どもたちには、「周りに遠慮してせつかくのよい力や考えを出さないのは自分にとっても仲間にとっても残念なことです。自分や仲間の成長のために『出る杭になろう』」と伝えました。併せて、「頑張ってる出る杭となった友達を

『認めよう』」とも呼びかけました。

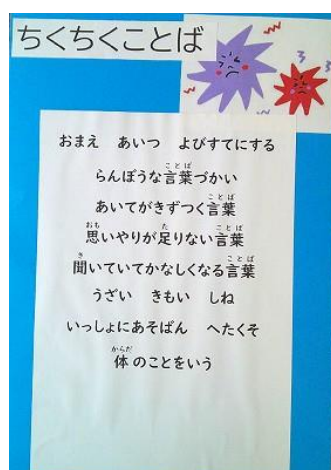
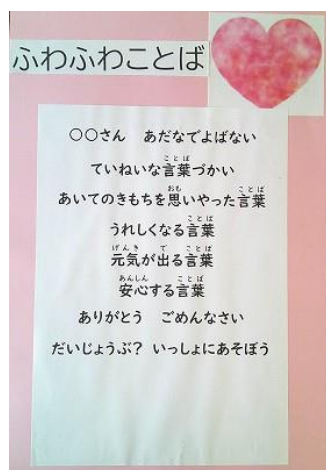
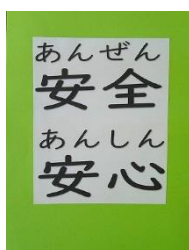
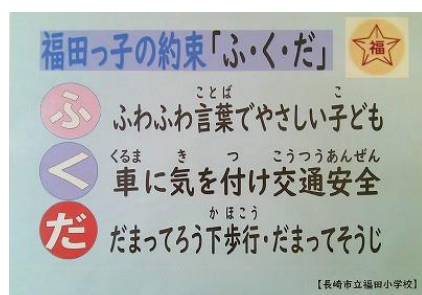
子どもたちが伸び伸びと個性を発揮できる学級、学年、学校にしたいと思っています。保護者の皆様のサポートをお願いします。

児童代表の言葉は、1年谷●●●●さんと、4年板●●●●●さんでした。●●●●さんは、2学期は漢字の練習を頑張ることと、生活目標の「だまって掃除」をして隅々まできれいにすることをハキハキと発表しました。●●●●さんは、1学期に算数を頑張って力がついたことを振り返り、2学期は音読や読み取り、文章を書くことなどに力を入れ、引き続き旧校舎のリーダーとして考えて行動することを力強く述べました。

二人とも態度も内容も申し分ない素晴らしい発表でした。



2学期の学校生活については、橋●教諭から話をしました。

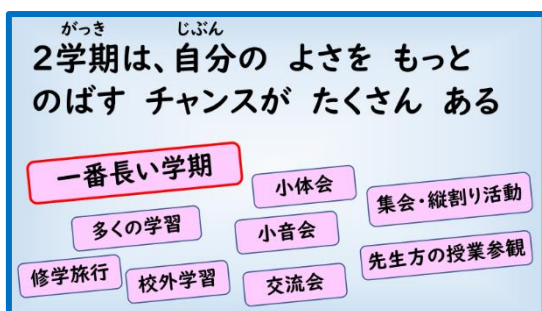


安全安心に学校生活を送るため、上の画像を示しながら「歩道から車道に出ないこと」、「横断歩道の前では一度止まって左右を確認すること」、「まだ暑い日が続くので帽子をかぶること」をあらためて指導しました。

また、左の2枚を出して、「ふわふわ言葉とちくちく言葉」の具体例を確認しました。1学期末の職員会議で、「子どもたちから簡単に『消えろ』『死ね』など相手の存在を否定する言葉が出た

り、友達を『お前』という見下した呼び方をしたりする」ことが課題としてあがりました。

取り上げた三つの内容（道路の歩き方、帽子の着用、言葉遣い）は、未熟な子どもたちにとっては大人が考えるほど危機意識はありません。具体的に繰り返し話をして意識の向上を図っていきましょう。



長くて各学年にとって大切な学習や行事が詰まった2学期です。保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、充実した日々となるよう職員一同で努めます。引き続きよろしくお願いいたします。